

## (参考1) 地下水汚染事例について

環境省は、平成13年度地下水質測定結果の取りまとめに合わせて、平成13年度以前に発見された汚染事例について、地方公共団体が平成13年度末時点で把握している状況を取りまとめた。

その結果、平成13年度末までに地下水汚染が判明した事例は全国で3,401件あり、そのうち平成13年度末時点において、環境基準を超過する井戸が存在する事例数は、2,330件であった。

地下水汚染事例を項目別にみると、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が865事例で最も多く、続いてテトラクロロエチレンの629事例、トリクロロエチレンの469事例であった。

### 1. 地下水汚染事例

平成13年度末までの 汚染判明事例	内 訳		
	現在、環境基準 超過井戸有り (超過事例)	現在、環境基準 超過井戸なし	井戸廃止等により調査できない事例
3,401	2,330	970	101

### 2. 汚染項目別の超過事例

(単位：件)

項目名 (揮発性有機化合物)	超過事例数
テトラクロロエチレン	629
トリクロロエチレン	469
シス-1,2-ジクロロエチレン	275
1,1-ジクロロエチレン	74
四塩化炭素	35
1,1,1-トリクロロエタン	23
1,2-ジクロロエタン	23
ベンゼン	15
1,1,2-トリクロロエタン	6
ジクロロメタン	5
1,3-ジクロロプロペン	0

項目名	超過事例数
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	865

項目名	超過事例数
ダイオキシン類	0

項目名 (重金属等)	超過事例数
砒素	317
ふっ素	80
鉛	35
ほう素	33
総水銀	28
六価クロム	23
全シアン	10
カドミウム	1
セレン	1
P C B	1
アルキル水銀	0
チオベンカルブ	0
チウラム	0
シマジン	0

複数の項目による汚染事例があるため、内訳の合計は2,330件に一致しない。